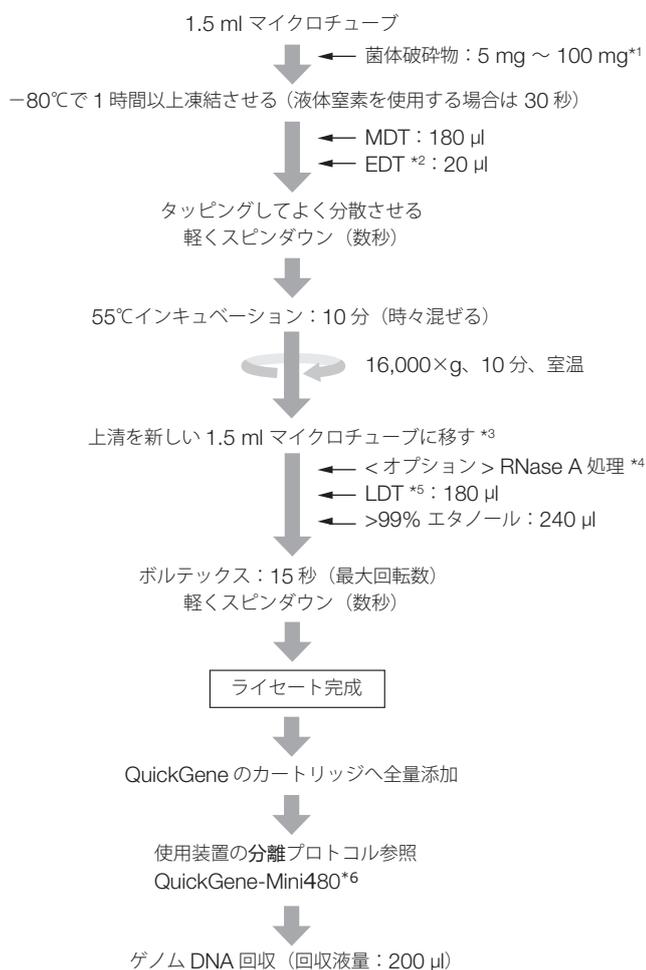


糸状菌からのゲノムDNA分離

プロトコル



*1 使用可能量は菌の種類などによっても異なります。本キットで初めて分離されるサンプルの場合は、予備実験を行ってください。

*2 EDT の効果が無い場合は、省略できます。

*3 残渣が落ちきらない場合は追加で遠心する。

*4 RNase A（100 mg/ml）：20 μl
タッピング（酵素液が混ざっていることを確認する）
軽くスピンドウン（数秒）

↓
室温インキュベーション：2分

*5 LDT 添加後に沈殿が生じた場合は70℃で数分間インキュベートし、沈殿を溶解してから特級エタノール（>99%）を添加してください。

*6 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

■ 電気泳動図

データなし

■ ゲノム DNA の収量

データなし

■ タンパク質の混入：A260/280

データなし

■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

■ その他

データなし

共通プロトコルサンプル

データなし